

守谷なくして県政なし



小川一成の県政報告

発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

茨城県にパンダ誘致

6月24日「いばらきパンダ誘致推進協議会」が大井川知事を会長に発足いたしました。

日立市かみね動物園にジャイアントパンダを誘致することを目的に茨城県と日立市が総力で取り組む夢のある事業です。

三月議会で知事がパンダ誘致を発表した時「本当にやるのか?」と思ったのと同時に、パンダの事ならこの人以外にいないと、とっさに脳裏をよぎりました。

環境文化創造研究所 主任研究員の『蘇 雲山』先生です。

蘇先生とは十年前に臼井県議の紹介で守谷でお会いし食事を共にしました。その時もパンダとトキの話に聞き入っていました。その後、我が家にも足を運んでいただきました。

蘇先生は上野動物園のパンダ誘致、佐渡のトキ導入プロジェクトの全てに関わってきたパンダとトキの第一人者です。

早速、蘇先生を案内して6月14日にかみね動物園を視察していただき小川日立市長とお会いし、午後には大井川知事と意見交換をいたしました。



この度「いばらきパンダ誘致推進協議会」が発足するにあたり、蘇先生にはアドバイザーとして参加していただける事になり、強力な援軍として期待しています。

易経に学ぶ帝王学

6月議会の最終日は例年、議会主催の講演会があり今回は易経研究家の竹村 亞希子氏による「最古の帝王学『易経』に学ぶリーダー成長論」です。

私と竹村氏との出会いは水戸からの帰り道に、NHKのカルチャーラジオで「龍が教える帝王学」を聞いたのが最初です。

時代も平成から令和へと変わり東洋最古の書「易経」から多くの事を学びました。

中国の古典である四書五経のうち四書は「論語」「大学」「中庸」「孟子」で、五経は「易経」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」をいい、五経を以て四書よりも高しとされています。

易経は儒教の教典とされ三千五百年前の書で東洋最古の書です。



神奈川県議会を視察

5月23日「タブレット端末の有効活用について」先進県の神奈川県議会を視察いたしました。

導入の経過、運用、ハード面、費用・効果など多岐にわたっての質疑応答は大変勉強になりました。



3年前に私と一緒に議長をされていた森さんには、大変お世話になりました。



森さんは県議になる前は、サッカーの日本代表でベルマーレ平塚の選手という異色の県議です。

ありがとうございました。

土木企業委員会で県内調査

5月10日土木企業委員会 県内調査を行い、常陸那珂港区の中央ふ頭水深12mの岸壁整備の状況を視察しました。

この港は北関東地域の経済・交流活動を支援する極めて重要な港です。

群馬県太田スバル工場で造られた車が今、アメリカに向けて次々に積み込まれています。

この船は7,000台の車を運ぶことが出来、今日は3,850台が積み込まれます。

さらに国内最大のクルーズ船「飛鳥II」や外国クルーズ船「セブンシーズマリナー」が寄港するなど多様な利用が図られています。



実現 原、北園地区に信号機設置



5月30日に念願の信号機がつけました。

原、北園地区のみなさんお待たせしました。

守谷市原町内会の区長さんはじめ皆さんから昨年夏の頃に、信号機設置の要望を受けました。

パーラーレイトの交差点で、手前に工業団地があり国道294号線に出るのに信号機がなくとても危険でした。

関係機関の努力により速やかに設置する事が出来ました。

「茨城県青年海外協力隊を育てる会」の総会



6月9日「茨城県青年海外協力隊を育てる会」の総会をJICA筑波で行いました。

昨年は20周年の節目の年を迎え「ラオスの青少年招聘事業」をやり遂げ、今年は新たな21年目のスタートをきりました。

JICA筑波にこの春着任された渡邊所長さんはアフガニスタンJICA事務所の所長さんでした。

今回初めて「協力隊」の旗が配布され、総会は盛会のうちに終了しました。

「守谷みつばち夢プロジェクト」 この指と〜まれ!

シーズン最初の採蜜

5月6日みつばちプロジェクトのメンバーで今年初めてのミツ絞りを行いました。

今回は竜ヶ崎市、つくば市、柏市などからの参加者や、子供の参加も多く賑わっていました。



メープルさんが気を利かせて丁度良い時間に、かき氷を提供してくださり「ハチミツとかき氷」の楽しい一日となりました。

お母さんはハラハラです

6月16日「みつばちプロジェクト」に水戸から4人も参加してくれました。

お母さんと一緒に参加した2人は小学3年生の「おてんば娘」です。

ミツバチに大いに興味を持って1日楽しんでいましたが、最後に大きなビワの木に登って、おてんばぶりを発揮し鈴なりのビワを取っていました。

お母さんはハラハラです。



令和がスタート

5月1日 新天皇がご即位になりました。

「令和」の新しい時代に希望を感じ、日本の伝統文化が今まで連綿と続いて来られたことに誇りを感じています。

日本に皇室があつて良かったと思います。



「もりやみつばち ジャンボリー」を実施しました。



「守谷みつばち 夢プロジェクト」のメンバーが「蜜蝋でラップを作る」ワークショップや、ミツバチや蜂蜜についての興味ある話などを中心に、春のサクラミツやアカシア蜜の食べ比べなど楽しいイベントで盛り上がりました。

小川一成のひとりごと

わが青春 海外旅行創生記

産経新聞に興味深い記事がありました。

～海外旅行創生期「制約だらけの高根の花」～というものです。

S39年4月1日、日本人の海外渡航が「年1回、外貨持ち出し500ドルまで」の制限付きで自由化された。

JALの世界一周の第1便が初めて飛んだのが、S42年3月6日。

その年の5月、大学2年になった私は1年間大学を休学して、虎の子の500ドルを握りしめ、横浜からソ連のナホトカに向いヒッチハイクでヨーロッパ、アフリカ、中近東、東南アジアへ冒険の旅に出た。

横浜の大栈橋は船上の旅立つ人と、見送り人のテープが投げられ最後の別れを惜しんでいました。

ゆっくりとナホトカ号が岸を離れ最後のテープが切れた時、

私はこれから1年に及ぶ長い旅に思いを馳せていました。

弱冠19歳。青春真っ只中でした。

この1年間の旅こそ、私のその後の人生を決定づける旅であった。



日本国からの出国を証する
1967年5月19日 出国港 YOKOHAMA

茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成

「小川一成のブログ」
とても面白い!

  配信中

趣味の養蜂

